

定期作況報告

(第2号 平成28年6月20日現在)

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

5月下旬：平年に比べ、平均気温は3.2℃高く、降水量は5.6mm少なく、日照時間は12.6時間多かった。真夏日（最高気温30℃以上）は1日、夏日（最高気温25℃以上30℃未満）は2日であった。

6月上旬：平年に比べ、平均気温は3.7℃低く、降水量は9.9mm多く、日照時間は25.3時間少なかった。

6月中旬：平年に比べ、平均気温は1.5℃低く、降水量は6.1mm多く、日照時間は19.8時間少なかった。夏日は1日であった。

5月下旬から6月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	16.7	13.5	3.2	12.6	16.3	▲ 3.7	16.0	17.5	▲ 1.5	15.1	15.8	▲ 0.7
最高気温(℃)	23.6	20.1	3.5	16.7	22.9	▲ 6.2	20.5	23.1	▲ 2.6	20.3	22.0	▲ 1.8
最低気温(℃)	10.1	7.3	2.8	8.6	10.6	▲ 2.0	12.3	12.8	▲ 0.5	10.3	10.2	0.1
降水量(mm)	14.0	19.6	▲ 5.6	26.5	16.6	9.9	38.0	31.9	6.1	78.5	68.1	10.4
降水日数(日)	4.0	3.6	0.4	4.0	3.4	0.6	6.0	4.1	1.9	14.0	11.1	2.9
日照時間(hr)	86.9	74.3	12.6	35.8	61.1	▲ 25.3	30.6	50.4	▲ 19.8	153	186	▲ 32.5

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3) ▲印は平年に比べて減を示す。

1) 水 稲：やや不良

5月20日現在：平年並

播種は平年より1日遅い4月15日に行った。育苗期間の天候は4月中旬が寡照に経過し、出芽は平年よりやや遅れ、出芽揃いもやや劣った。4月下旬の日照時間は平年よりやや多かったが、気温は平年より低く、苗の生育は遅延した。5月以降、気温は平年より高く、日照時間は平年並から上回り、苗の生育は回復傾向となった。移植は平年より1日遅い5月20日に行った。移植時の草丈は平年より1.9～2.6cm低く、第1葉鞘高は平年並であった。主稈葉数と茎数はほぼ平年並であった。地上部乾物重は平年より0.83～0.87g軽かった。苗の形質はいずれも、機械移植栽培基準の範囲にあり、苗の充実度を現す地上部乾物重／草丈は平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

6月20日現在：やや不良

5月下旬の高温・多照により活着は良好で生育も順調であったが、6月上・中旬の低温・日照不足により生育は停滞した。6月20日現在、平年に比べ主稈葉数は0.6～0.7枚少なく、草丈も1.7～5.2cm低く、m²当たり茎数は25～28%少ない。これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

表2 6月20日の水稻の生育

項目		品種名 /年次	ななつぼし			きらら397			ゆめぴりか		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
生育期節	播種期 (月日)		4.15	4.14	1	4.15	4.14	1	4.15	4.14	1
	移植期 (月日)		5.20	5.19	1	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1
	幼穂形成期 (月日)			6.23			6.26			6.23	
	止葉期 (月日)			7.09			7.11			7.09	
	出穂期 (月日)			7.21			7.22			7.20	
	成熟期 (月日)			9.08			9.10			9.06	
	穂揃日数 (日)			8			7			8	
	登熟日数 (日)			49			50			48	
	生育日数 (日)			147			1			145	
移植時	草丈 (cm)		11.1	13.7	▲ 2.6	11.2	13.1	▲ 1.9	11.4	13.6	▲ 2.2
	葉数 (枚)		4.0	4.0	0.0	4.1	4.1	0.0	4.0	4.2	▲ 0.2
	茎数 (本)		1.9	1.7	0.2	2.0	1.8	0.2	2.0	2.0	0.0
	第1葉鞘高 (cm)		2.4	2.5	▲ 0.1	2.5	2.6	▲ 0.1	2.4	2.5	▲ 0.1
	地上部乾物重 (g/100本)		3.58	4.41	▲ 0.83	3.40	4.23	▲ 0.83	3.60	4.47	▲ 0.87
	地上部乾物重/草丈		0.32	0.32	0.00	0.30	0.32	▲ 0.02	0.32	0.33	▲ 0.01
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	7.6	8.2	▲ 0.6	7.9	8.6	▲ 0.7	7.9	8.6	▲ 0.7
		7月20日		10.2			11.0			10.6	
	止葉葉数			10.2			11.0			10.6	
茎数 (本/m ²)	6月20日	453	608	▲ 155	520	727	▲ 207	505	680	▲ 175	
	7月20日		731			797			816		
草丈 (cm)	6月20日	34.5	39.7	▲ 5.2	32.3	34.0	▲ 1.7	34.2	37.8	▲ 3.6	
	7月20日		81.9			73.7			80.5		
成熟期	稈長 (cm)			67.9			62.7			65.1	
	穂長 (cm)			16.7			16.5			16.8	
	穂数 (本/m ²)			672			727			755	
収量構成要素	一穂籾数 (粒)			49.1			42.2			42.6	
	m ² 当たり籾数 (×千)			33.0			30.5			32.0	
	稔実歩合 (%)			96.1			95.6			95.1	
	m ² 当たり稔実籾数 (×千)			31.7			29.2			30.4	
	同上比 (%)			100			100			100	
	登熟歩合 (%)			90.8			87.1			87.1	
	籾摺歩合 (%)			81.9			80.9			79.7	
	屑米歩合 (%)			1.7			2.1			2.7	
精玄米千粒重 (g)			22.4			23.3			22.8		
収量	藁重 (kg/10a)			629			582			604	
	精籾重 (kg/10a)			810			792			796	
	精玄米重 (kg/10a)			663			640			634	
	収量平年比 (%)			100			100			100	
	検査等級 (等)			1下			1下			1下	

注 1) 平年値は前7カ年の中、平成21年(最凶年)、平成26年(最豊年)を除く5カ年の平均値。

2) △は平年に比べ「早」、▲は平年に比べ「減」を示す。

3) 苗代耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥量：成分量でm²あたり、床土 N 3.0g, P₂O₅ 7.2g, K₂O 3.0g、

置床 N 27.0g, P₂O₅ 34.0g, K₂O 18.0g

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：成分量で10aあたり、N 8.0kg, P₂O₅ 9.7kg, K₂O 6.9kg, 堆肥1,000kg

5) 精玄米千粒重・精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算

2) 秋まき小麦：やや良

9月20日現在：

事由：平年より5日早い9月10日に播種し、平年より5日早い9月19日に出芽期となった。

10月20日現在：やや良

事由：出芽期が平年より5日早く、9月下旬の気温が高かったことから、生育は平年より進んでいる。葉数、草丈および茎数はいずれも平年を上回り、特に茎数は平年の約2倍となっている。したがって、目下の作況は「やや良」である。

5月20日現在：やや良

事由：根雪始は平年より5日早く、根雪終は平年より7日早く、積雪期間は平年より3日短い137日となった。雪腐病発病度は平年より低く、越冬茎歩合は平年よりやや高く、現時点の茎数は平年より多い。根雪終が平年より早く、融雪後の気温が4月下旬を除いて平年より高く推移したため、生育は進んでおり、草丈は平年より高い。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

6月20日現在：やや良

事由：5月下旬の気温が高温に推移したため、前節に引き続き生育は進んでおり、出穂期は平年より5日早となった。その後、6月上中旬の低温寡照により生育は停滞傾向であるが、現時点の草丈は平年よりやや高く、茎数は平年を上回っている。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

表3 6月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名 項 目 \ 年次		きたほなみ		
		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	9.10	9.15	△ 5
出芽期	(月.日)	9.19	9.24	△ 5
出穂期	(月.日)	6.01	6.06	△ 5
成熟期	(月.日)		7.18	
越冬茎歩合	(%)	132.3	128.2	4.1
雪腐病発病度		3.1	12.1	▲ 9.0
葉数(枚)	平27年10月20日	5.1	4.4	0.7
草丈 (cm)	平27年10月20日	19.6	18.5	1.1
	平28年 5月20日	42.9	38.4	4.5
	平28年 6月20日	88.3	86.5	1.8
茎数 (本/m ²)	平27年10月20日	1473	723	750
	平28年 5月20日	1599	1366	233
	平28年 6月20日	764	685	79
成熟期	稈長 (cm)		78	
	穂長 (cm)		8.6	
	穂数(本/m ²)		633	
子実重	(kg/10a)		646	
同上	平年比 (%)			
リットル重	(g)		804	
千粒重	(g)		39.2	
検査等級	(等)		2中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、27年（収穫年度）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3) 春まき小麦：やや不良

5月20日現在：平年並

事由：融雪は平年より7日早かったが、その後の天候不順により播種期は平年より3日遅い4月22日であった。その後、出芽期は平年より1日遅れに留まり、草丈、茎数とも平年をやや下回る程度であった。

したがって、目下の作況は「平年並」である。

6月20日現在：やや不良

事由：6月上旬に降水量が極めて少なく土壌が乾燥状態で推移したことから茎長・茎数とも平年を下回っている。また、6月上中旬が低温で推移したことから生育が遅れ、出穂期に達していない。

したがって、目下の作況は「やや不良」である。

表4 6月20日の春まき小麦の生育

品 種 名		春よ恋		
項 目	年次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	4.22	4.19	3
出芽期	(月.日)	5.05	5.04	1
出穂期	(月.日)		6.17	
成熟期	(月.日)		7.28	
草丈 (cm)	5月20日	16.7	20.5	▲ 3.8
	6月20日	68.2	81.7	▲ 13.5
茎数 (本/m ²)	5月20日	496	684	▲ 188
	6月20日	638	758	▲ 120
成 熟 期	稈長 (cm)		91	
	穂長 (cm)		8.7	
	穂数(本/m ²)		512	
子実重	(kg/10a)		1296	
同上	平年比 (%)		484	
リットル重	(g)		788	
千粒重	(g)		40.2	
検査等級	(等)		2中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、24年を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。

3) リットル重は1リットル升による測定。

4) 大豆：やや不良

6月20日現在：やや不良

5月中下旬が高温少雨に経過し、土壌が乾燥傾向であったこと、6月上旬の気温が低かったことから、出芽の進みは緩慢であり、出芽期は平年より6日遅となった。主茎長ならびに主茎節数が平年を下回ることから、目下の作況は「やや不良」である。

表5 6月20日の大豆の生育

品 種 名		ユキホマレ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.18	5.21	△ 3
出芽期	(月.日)	6.09	6.03	6
開花期	(月.日)		7.12	
成熟期	(月.日)		9.22	
主茎長 (cm)	6月20日	8.6	11.9	▲ 3.3
	7月20日		63.5	
	8月20日		71.8	
	9月20日		72.2	
	成熟期		72.9	
主茎 節数 (節)	6月20日	3.3	4.2	▲ 0.9
	7月20日		10.5	
	8月20日		10.7	
	9月20日		10.9	
	成熟期		10.9	
分枝数 (本/株)	7月20日		7.1	
	8月20日		7.5	
	9月20日		6.1	
	成熟期		5.9	
着莢数 (個/株)	8月20日		91	
	9月20日		77	
	成熟期		76	
子実重	(kg/10a)		426	
同上	平年比 (%)		100	
百粒重	(g)		36.5	
屑粒率	(%)		3.7	
検査等級	(等)		3上	-

注1) 平年値は、前7か年中、平成22年、26年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

5) 小豆：やや不良

6月20日現在

事由：播種は平年より1日早い5月23日に行ったが、その後は降水量が少なく土壌が乾燥状態で推移したため、出芽期は平年より8日遅かった。出芽期の遅れの影響を受け、主茎長は平年より低く、本葉も展開していない状況であるが、6月中旬の降雨により土壌水分が十分であったことから出芽は揃ってきている。

したがって、目下の作況は「やや不良」である。

表6 6月20日の小豆の生育

品 種 名		エリモシヨウズ		
項 目	年次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.23	5.24	△ 1
出芽期	(月.日)	6.16	6.08	8
開花期	(月.日)		7.22	
成熟期	(月.日)		9.4	
主茎長 (cm)	6月20日	1.9	4.8	▲ 2.9
	7月20日		34.8	
	8月20日		65.6	
	成熟期		67.0	
本葉数 (枚)	6月20日	0.0	1.5	▲ 1.5
	7月20日		9.7	
	8月20日		13.0	
主茎節数 (節)	成熟期		15.0	
分枝数 (本/株)	7月20日		6.0	
	8月20日		5.6	
	成熟期		5.1	
着莢数 (個/株)	8月20日		54	
	成熟期		59	
子実重	(kg/10a)		325	
同上	平年比 (%)		100	
百粒重	(g)		12.6	
屑粒率	(%)		3.4	
検査等級	(等)		3中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22、27年を除く5か年の平均値

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

6) ばれいしょ：やや不良

6月20日現在

事由：萌芽期は平年より1日遅れた程度だったが、その後6月上旬は降水量が極めて少なく土壌が乾燥し、また6月上中旬は低温で推移したため生育が遅れ、茎長は平年を下回っている。

したがって、目下の作況は「やや不良」である。

表7 6月20日のばれいしょの生育

品 種 名		男爵薯		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.10	5.08	2
萌芽期 (月.日)		5.29	5.28	1
開花始 (月.日)			6.23	
枯凋期 (月.日)			8.30	
茎長 (cm)	6月20日	30.1	38.0	▲ 7.9
	7月20日		51.7	
上いも数 (個/株)	7月20日		9.7	
	8月20日		10.9	
上いも平均一個重 (g)	7月20日		80	
	8月20日		104	
上いも収量 (kg/10a)	7月20日		3406	
	8月20日		4957	
でん粉価 (%)	7月20日		14.4	
	8月20日		14.9	
収 穫 期	上いも数 (個/株)		10.7	
	上いも平均一個重 (g)		103	
	上いも収量 (kg/10a)		4821	
	同上平年比 (%)		100	
	中以上いも収量 (kg/10a)		4326	
	同上平年比 (%)		100	
	規格内いも収量 (kg/10a)		4070	
	同上平年比 (%)		100	
でん粉価 (%)			14.6	

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22、23年を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。

3) 規格内収量は、生食用規格内 (M~2L : 60~260g) の収量である